

令和5年度 FD 実施計画書・報告書

令和6年4月

I 学部学科・研究科名

幼児保育学科

II-1 実施計画①【概要】

II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組N°	A FD センター重点項目	FD2021 取組項目	A FD センター重点項目 達成内容
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・ DP ルーブリックの策定 ・ DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討 ・ アセスメントプランに基づく成果の検証と公表の開始	I-1-(1)	学科の履修カルテを拡張した DP ルーブリック、カリキュラムマップが完成し、学習の振り返りや自己評価と共に系統的な指導が可能となった。 「中村学園大学短期大学部アセスメントプラン チェックリスト」の内容を再確認し、令和4年度の「成績評価分布データ」をもとに改善策について検討を行った。また「学生生活実態調査」の結果を踏まえた授業改善の方法等について検討した。 「卒業生アンケート」の結果、大半の卒業生が学科の DP（ディプロマポリシー）を達成したと認識する傾向がみられ、今後も DP ルーブリックの内容について継続的に検討していくことを確認した。
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・ 各学科におけるルーブリック導入率（授業ルーブリック・課題ルーブリック）の向上 ・ ルーブリックの実効性検証	I-2-(1)	R6 年度の授業ルーブリック、課題ルーブリックの導入率の現状（58%）と到達目標値について共通認識を図った。今後もさらなる導入率の向上に努めることとなった。
3	Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・ 数理・データサイエンス・AI に関連する科目等の実施状況の振り返り及び拡大（情報教育センター・教養教育センター及び各学科へ検討依頼）	I-1-(4)	今年度より開講された数理・データサイエンス・AI に関する科目「データサイエンス入門」の現状（授業方法・内容・受講者数等）について共通認識を図った。（今年度は完全オンデマンド授業：受講者数：前学期 52 名、後学期 115 名）当面「数理データサイエンス」と情報機器の操作関連の科目の二本立てで開講予定である。
4	「成績評価ガイドライン」のポリシー策定 ・ 「成績評価ガイドライン」のポリシーの運用開始、実効性の検証	I-2-(2)	令和5年度前学期の成績分布表をもとに、学科専任教員の成績評価分布の状況を確認し、成績評価ガイドラインのポリシー策定について検討した。免許、資格認定に関わる科目が大半を占めることや、今年度からのカリキュラム変更に伴い、当面の間は全学基準の成績評価ガイドラインに準拠することを確認した。今後は各教員が自身の担当科目の成績分布状況を把握できる専用入力データをもとに注視していく。
5	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進	I-2-(3)	就職課と 2023 年度の就職状況に関する情報共有および意見交換を行う。今後も就職状況を注視していくと共に、さらに連携を深める。

取組Ｎｏ	B その他取り組み項目	B その他取り組み項目 達成内容
6	教育課程・教育目標・教育内容の検証 ・初年次教育「幼児保育基礎セミナー」の見直しと改善	初年次教育「幼児保育基礎セミナー」の授業内容の見直しと改善に向けて、2023年度の「幼児保育基礎セミナー」の授業内容を省察し、変更点や改善点などについて検討を行う。 幼稚園教育実習、保育所実習、施設実習の現状と課題について意見交換を行い、今後の実習指導のあり方を検討する。
7	学生支援 (学生支援について学科内の情報共有の実施)	各教員の担当学生(2年次ゼミ生、1年次担当グループ)の状況(出欠、履修状況、学生生活、その他)を学科会議、ガルーンのメッセージ「学生あれこれ」等で情報共有し、懇切丁寧な指導を行った。

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

取組 No.	予定時期	内容
5	R5. 4 月	「2023 年度の年間テーマとスケジュールについて」 2023 年度学科 FD ワークショップの年間テーマとスケジュールを確認し、各種課題について共通理解を図る。
1	6～7月	「DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定」 ・DP ルーブリックの策定 ・DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討 ・アセスメントプランに基づく成果の検証と公表の開始
2	9 月	「授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進」 ・各学科におけるルーブリック導入率(授業ルーブリック・課題ルーブリック)の向上 ・ルーブリックの実効性検証
3	10 月	「Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し」 ・数理・データサイエンス・AIに関連する科目等の実施状況の振り返り及び拡大(情報教育センター・教養教育センター及び各学科へ検討依頼)
4	12 月	「成績評価ガイドライン」のポリシー策定 ・「成績評価ガイドライン」のポリシーの運用開始、実効性の検証
6	R6.2 月	「教育課程・教育目標・教育内容の検証」 初年次教育を見直し、改善するため、2023 年度の「幼児保育基礎セミナー」の内容を省察し、次年度に向けた変更点、改善点等について検討する。
5	.3 月	「各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進」 「2023 年度の総括-入試・就職の実態と次年度に向けた取り組み-」 入試課・就職課と連携して 2023 年度の入試、就職状況について情報共有を行い、次年度に向けた入試・就職支援のあり方について検討する。

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】 (年度末記入)

実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
R5.4/6	2023 年度学科 FD ワークショップの年間テーマとスケジュールを確認し、各種課題について共通理解を図った。
7/6	履修カルテを拡張した DP ルーブリック、カリキュラムマップを完成させた。アセスメントプランに関しては「中村学園大学短期大学部アセスメントプラン チェックリスト」の内容を再確認し、学科での共通認識を図った。 令和4年度の成績評価分布データをもとに成績評価の現状を確認した。「学生生活実態調査」の結果を踏まえ、授業改善の方法等について検討を行った。「卒業生アンケート」によると、大半の卒業生が学科の DP(ディプロマポリシー)を達成したと認識する傾向がみられた。今後も DP ルーブリックの内容について状況に応じて精査していくことを確認した。
9/7	R5 年度の授業ルーブリック、課題ルーブリックの導入率の現状(43%)と到達目標値について共通認識を図った。今後の導入率の推移を注視しながらルーブリックの実効性について検証していく。
10/5	今年度より開講された数理・データサイエンス・AIに関する科目「データサイエンス入門」の現状(授業方法・内容・受講者数等)について共通認識を図った。
12/7	令和5年度前学期の成績分布表をもとに、学科専任教員の成績評価分布状況を共有し、「成績評価ガイドライン」のポリシー策定について検討した。免許、資格認定に関わる科目が大半を占めることや今年度からのカリキュラム変更に伴い、当面の間は全学基準の成績評価ガイドラインに準拠することを確認した。今後は各教員が自身の担当科目の成績分布状況を把握できる専用入力データをもとに注視していく予定である。
R6.2/8	幼稚園教育実習、保育所実習、施設実習の現状と課題(実施時期・日数・内容)について意見交換を行い、具体的な改善方法について検討した。 初年次教育としての 2023 年度「幼児保育基礎セミナー」の授業内容を省察し、意見交換を行った。また、2024 年度「幼児保育基礎セミナー」の授業内容、各授業回の担当者について検討した。
3/7	就職課より 2023 年度の就職状況について説明を受け、情報共有および意見交換を行った。今後も就職状況を注視していくと共に、さらに関係各署との連携を深める。入試課との情報共有は、今年度最終入試「総合型入試」(R6.3/21 木)終了後、2023 年度の総括として 2024 年度4月 FD(R6.4/4 木)にて行う予定である。